

おえれど！ 蒲

大学図書館問題研究会 京都

〒607 京都市山科区大宅山田町 34 京都橘女子大学図書館 小林倫道気付
(Tell) 075-574-4118 (Fax) 075-574-4124

教育関係データベースの情報検索と資料提供の現状と課題

竹村 心 (京都大学教育学部図書室)

I. はじめに

最近出版された教育関係の参考図書の案内書としては、イギリスの教育を中心としたものとして、1990年に出版されたベーター B. クラークの "Finding out in education : a guide to sources of information" やアメリカの教育を中心としたものとして、1989年に出版されたロイス J. バトラーの "Education: a guide to reference and information sources" があるが、我が国のものは1971年に出版された加納正巳の『教育学関係参考文献総覧』のみに停どまっている。

『教育関係参考文献総覧』以後の日本の教育関係参考図書の解題の必要が叫ばれて久しいが、まだ実現していないことは、我々教育系専門図書館に勤務する図書館員として怠慢のそしりを受けて当然と言える。

大学図書館問題研究会教育系図書館分科会が中心となって早急に組織的な取り組みを具体化する必要があるが、ここでは、教育関係のデータベースのうち、日本で容易に利用出来るものを紹介し、教育関係データベースの情報検索と情報検索後の文献入手の方法の現状と課題を明らかにしたい。

II. 我が国の教育関係データベースの種類とその利用及び文献入手の方法の現状と課題

我が国で構築された教育情報データベースは国立教育研究所を中心として、1985年以降急速

目次	教育情報データベースの情報検索と資料提供の現状と課題 (竹村 心) . . . 1頁 「これは便利」 こんな統計データはどこに載っているか (竹村 心) . . . 6頁 大図研大学アンケート開始 大図研大学に皆さんの意見をお寄せ下さい . . . 6頁
----	---

に進展し、現在、国立教育研究所が構築し、あるいは共同管理・移築して運用しているものは表1の14種類に上っており、これらのデータベースは公衆回線またはDDXを介して、パソコン通信によって利用でき、その利用者は357機関に及んでいると報告されている。

表1 国立教育研究所 教育情報データベース収録項目内容一覧(1992年4月1日現在)(注2)

【文字情報データベース】

No.	データベース名	主な収録項目	収録件数
1	教育研究所・教育センター 刊行論文	標題、著者名、掲載誌名、発表年月、研究対象、研究方法、文献の種類、索引語、内容の要約	昭和57年度以降 計 15,328件
2	初等中等教育諸学校における 実践的教育研究主題	研究主題、分野・領域、学校名、年度、都道府県名、研究指定、学校所在地、学校種別、学校番号	昭和56年度以降 計 29,574件
3	教育学系博士・修士学位論文 題目	論文題目、著者名、専攻分野、大学院研究科、学位授与年月、学位、主副区分	新制大学発足以降 計 10,384件
4	地方教育センター等における 教職員研修講座	講座名、主催者、開催場所、受講者、実施形態、実施日数、研修方法、講師、索引語、講座内容	昭和60年度以降 計 17,498件
5	教育用ソフトウェア情報	名称、作成者、使用分類、利用機種、提供の可否、対象教科、適用業務、概要、利用結果	昭和62年度以降 計 8,481件
6	大学紀要・学会誌等掲載教育 研究論文	標題、著者名、発表年月、発表機関、適用分野、所属、研究対象、教科領域、索引語、内容の要約	1933～1987年 計 71,133件
7	小学校国語教科書の発行者 および教科書に関する情報	教科書名、著者名、発行者名、使用学年、検定年、使用開始・終了年、ページ数、価格	新制大学発足以降 計 398件
8	小学校国語教科書に掲載され た作品に関する情報	教科書名、単元名、題名、作者、作品分類、出典書名、学習目標、学習課題、概要、登場するもの	昭和60年度以降 計 11,036件
9	文化財情報Ⅰ： 遺跡	遺跡名、遺跡数、所在地、時代種別、遺跡種別、遺構種別、遺物種別、キーワード、コメント	佐賀県 計 4,410件
10	文化財情報Ⅱ： 貝塚遺跡	貝塚名、所在地、貝類、ウニ類、魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類、人、植物	1989年現在 計 4,389件
11	文化財情報Ⅲ： 貝塚遺跡文献	文献番号、タイトル、著者名、雑誌名、巻・号、ページ、発行年、発行者、NOTE	1980～1989年 計 1,119件

【数値情報データベース】

No.	データベース名	対象分野	収録期間
12	学校基本調査統計データ ベース	文部省刊行の学校基本調査報告書に記載された統計数値	昭和30年度～ 平成元年度
13	教育費統計データベース	文部省が公表した地方教育費及び私立学校の教育費に関する調査結果	昭和30会計年度～ 昭和62会計年度
14	体力・運動能力統計データ ベース	文部省が公表した体育・運動能力調査結果	昭和39年度～ 平成元年度

また、国立婦人教育会館では昨年11月より表2の種類の婦人教育データベースを公衆回線またはDDXを介して、パソコン通信で利用でき、その利用者は143機関に上っている。(注3)

また、現在、国立特殊教育総合研究所では特殊教育関係の用語のシソーラスの開発と特殊教育関係の論文、実践報告の情報のデータベースを開発しており、近い将来、オンラインで提供する計画を持っている。

(注2)表1: 吉岡亮衛「教育情報データベースの現状と課題」『教育と情報』1992年5月号3頁

(注3)表2: 青島なな子「全国で唯一の女性に関するデータベース」『教育と情報』1990年11月号26頁

国立オリンピック記念青少年総合センターでは青少年施設に関するファクトデータベースとその二次情報のデータベースを作成している。また、青少年教育関係の施設・人物および文献の情報データベースの作成に着手している。

国立教育会館では文部省所管の統計情報の磁気媒体化と一般利用者への販売を行うほか、人物データベースを作成している。また、現在、高等学校転入学情報の収集公開をオンラインで実施している。

国立教育研究所が提供しているデータベースのうち、大学紀要・学会誌等掲載教育研究論文は雑誌記事索引データベースよりも件名索引が詳細で、検索効率が高い。

国立婦人教育会館が提供しているデータベースは女性・家族問題では質・量とも我が国で有数の情報量で信頼度は高い。

表2 婦人教育データベースの種類と内容(1990年3月末現在)

データベース名	データ量	内 容
①和書データベース	約12,000件	女性、家族に関する一般出版社が刊行した図書、企業の調査資料、国及び地方自治体（教育委員会、婦人問題担当室等）が刊行した女性、家庭教育に関する資料、婦人団体・グループ等が刊行した資料の書名、著者名等書誌事項及びキーワードを主なデータとして収録。地方自治体の刊行物については昭和53年度以降受入分のデータベース化を平成2年度前半に終了、その他の図書資料については、昭和62年度以降受入分のデータを収録。
②洋書データベース	約1,000件	女性、家族に関して、日本語以外の言語で刊行された図書資料の書名、著者名、出版社、刊行年等書誌事項及びキーワードをデータとして収録。昭和62年度以降受入分洋書のデータを収録。
③和雑誌記事データベース	約9,000件	昭和53年度以降受け入れた、女性及び家族に関する逐次刊行物のうち、約200誌に掲載された女性及び家族に関する記事・論文について論題、著者名（座談会参加者やシンポジウム等の発表者も含む）、雑誌名、特集名、巻号、刊行年等書誌事項及びキーワードに関するデータベース。
④新聞記事インデックスデータベース	約9,000件	全国紙及び地方紙合計56紙に掲載された、女性及び家族に関する記事について新聞名、掲載日、見出し語、キーワード等に関するデータベース。話題となった女性（人材）に関する記事について昭和53年度以降受入分を、また、女性及び家族全般にかかわる記事については、平成元年度以降受入分の記事をカバーしている。

注1) キーワードの付与に関して、①～③については、婦人教育シソーラスのディスクリプタに基づき、④については、当該新聞記事内の自然語を中心に与えている。

注2) ④については、現在、光ディスクにインデックスを作成しながら原記事を保存してレファレンスツールとして使用、一般には公開していない。中型汎用コンピュータ導入後にインデックス部分を公開する予定である。

注3) 平成3年1月以降は①及び②の内容を図書データベース及び地方行政資料データベースと組み替える。

情報検索後の文献入手については、国立教育研究所が郵送による文献複写サービスを行っていないので、入手に困難な場合がある。

複写文献入手の困難な資料として、教育関係学会および心理関係学会の大会論文集、文部省や各種財団が助成して行われる調査研究報告書、心理テスト(注1)等がある。これらを収集し、所蔵する図書館での書誌情報および所蔵情報の入力を促進する必要がある。

(注1)心理テスト用紙の貸出には心理学研究者にその利用を制限することが必要。

Ⅲ. 外国の教育関係データベースの種類とその利用および文献入手の方法の現状と課題

我が国で容易に利用できる外国で構築されている教育関係データベースとしては以下のデータベースがある。

データベース名	ファイル内容	情報検索手段
ERIC	ERICは米国教育省のEducational Resources Information Centerが収集している教育資料に関するデータベース。ERICは雑誌以外の図書資料を収載するResources in Education(RIE)と750種の雑誌を収載するCurrent Index to Journals in Education(CIJE)の2つのサブファイルからなっている。	筑波大学情報センターと接続して、オンライン検索する。京都大学大型計算センターと接続し、オンライン検索するDIALOGを通して接続する。
BRITISH EDUCATION INDEX	BRITISH EDUCATION INDEX(BEI)は印刷体のBritish Education Index(BEI)とマイクロフィッシュのBritish Education Theses Index(BETI)のデータベース版。BEIは教育と教科教育の250種の雑誌の論文を収載し、BETIは学位論文を収載している。ERIC Internationalの一部。	DIALOGを通して接続する。
EXCEPTIONAL CHILD EDUCATION RESOURCES	EXCEPTIONAL CHILD EDUCATION RESOURCES(ECER)はあらゆる年齢層の障害児者と特殊才能児の教育と発達に関する文献データベース。ECERのレコードの半分はERICに収録されている	DIALOGを通して接続する。
A-V ONLINE	米国立教育媒体情報センター(NICEM)はあらゆる学問の保育園から大学院にいたる教育の全段階の印刷媒体以外の媒体に関する情報を包括的に収集し、コード化している。成人教育、職業技術教育、専門段階の教師教育のほか特定産業の産業訓練と教育向けの資料も収集。	DIALOGを通して接続する。
PsycINFO	PsycINFOのデータベースでは心理学とその関連分野の行動科学および精神医学、社会学、人類学、教育学、薬理学および言語学などの社会科学に関する世界中の文献が収載されている。PsycINFOは印刷体のPsychological Abstractsの全部のレコードとDissertaton Abstracts Internationalおよびその他の情報源の資料を収録している。	DIALOGを通して接続する。Psychological Abstractsのデータベースは筑波大学情報センターが搭載している

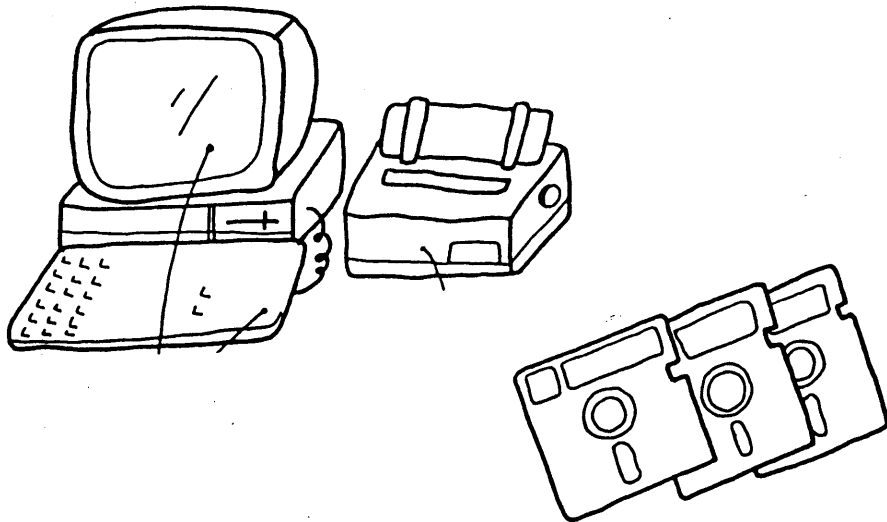
SOCIOLOGICAL ABSTRACTS	SOCIOLOGICAL ABSTRACTS(SA)とそのサブファイルのSocial Planning/Policy and Development Abstracts(SOPODA)は同名の印刷体索引誌に対応している。SAが収録している文献は論理的なものであるか又は方法論であるのに対し、SOPODAに収録されている調査報告書は対策・政策的なものである。	DIALOGを通して接続する。
---------------------------	--	-----------------

これらの情報検索のうち、DIALOGを通して接続する情報検索サービスは高価なものになり、大学院生等の研究者が私費で行うのには高すぎる。しかし、原報がオンラインで発注できることは便利である。

ERICを情報検索後、RIEに収録されていた文献を入手する方法は、1979年までは京都教育大学附属図書館が、それ以降現在までは東京学芸大学附属図書館がマイクロフィッシュで所蔵しており、ハードコピーの郵送複写サービスに応じてくれる。

情報検索後の文献入手の有力な方法として、British Library Document Supply Centre(BLDSC)に依頼する方法がある。BLDSCは世界最大の文献供給センター。逐次刊行物、単行本、会議録、報告書、および政府刊行物などあらゆる種類の文献の複写に応じている。日本の総代理店になっている丸善または紀ノ国屋でクーポン[1冊(20枚綴り)29,400円]を購入するか、預託金1口[(20ユニット)29,400円]以上を納め、預託金口座を開設するかすると便利である。

DIALOGを通して接続する情報検索サービスの料金をどのように捻出するかが工夫のいるところである。



「これは便利」—こんな統計データ—はどこに 載っているのか?—

竹 村 心(京都大学教育学部図書室)

図書館のカウンターには「昨年度の出生率は?」「全国の高校の数は?」という簡単なものから「お米の自給率の経年変化は何に載っているか」とか「国民の学歴がわかるデータはないか」とかちょっとすぐには出ない統計データに関するクイック・レファレンスがよくあります。

即答できないとき、あなたはまず、何を、見ますか。

私は日外アソシエーツの『日本統計索引』を引きます。外国の統計データを質問された場合でも、『日本統計索引』の姉妹編ともいうべき『日本統計索引・補遺 国別・地域別篇』が大変役に立ちます。

また、この『日本統計索引』は、高価で膨大な「指定統計書」がない場合でも、累積二次統計書や要約二次統計書、加工二次統計書などの身近な統計データにも案内してくれるのでとても便利です。

ただし、この『日本統計索引』はすぐには使えません。必ず、「『日本統計索引』の使い方」を読み、試しに使ってみてください。

その便利さがお分かり戴けます。

もっと、日本の統計書について知りたいと思われる方は、手頃な文献案内もあります。ただ残念なことに、この『日本統計索引』は、現在、「品切れ」になっていることです。再販または改訂版が待たれます。

大図研大学アンケート開始—大図研大学に皆さんのご意見をお寄せ 下さい。

支部委員会は大学図書館員の専門性を維持発展させるため、また、継続教育の機関の設立をめざして、『大図研学校』、そして『大図研ゼミナール』、『大図研大学』(第Ⅰ期)と開いてまいりました。

第Ⅱ期『大図研大学』では、「人間味にあふれた総合的な『情報管理論』」をとりあげます。

先日も、同志社大学の犬城先生を訪ね、協力依頼を行い、ご協力いただくことになりました。そこでも、大学図書館司書の継続教育として実施するのであれば、現場の図書館員の興味・関心を大切にすることが参加した図書館員の実力をつける上で大事であることが話し合わせ、会員アンケートを実施しようと準備してしていた支部委員会も心強く思った次第でした。

会員の皆さん、大図研大学にたくさんのご意見をお寄せ下さい。お待ちしております。

なお、第Ⅱ期大図研は9月から開く予定です。